

イタリア政府の招聘による留学後、イタリアにアトリエを設け、彫刻の作品制作を行っており、国内外で高い功績を残してきた。緩やかな曲線と量感のある作品は、触れられる芸術として世界各地に設置され、それぞれに周りの自然と調和した独特の空間を創り出している。また、美唄市内の廃校（旧栄小学校）跡地に彫刻を設置、「アルテピアッツァ美唄」として再生し、その工房では自ら作品制作の指導を行うなど、本道文化の振興に貢献してきた。

◎受賞者の主な略歴

- S44 東京芸術大学大学院彫刻科修了
- H3 個展「彫刻の道」開催（ミラノ、イタリア）
- H4 アルテピアッツァ美唄オープン
芸術選奨文部科学大臣新人賞
- H6 個展「大理石とブロンズ」開催（イギリス）
- H12 個展「街における彫刻」（フィレンツェ、イタリア）
- H13 個展「安田侃野外彫刻展」（東京都）
プッチーニ財団「プッチーニ特別賞」（イタリア）
- H14 井上靖文化賞、村野藤吾賞
詩のアルピ・アプアーネ特別賞（イタリア）
- H15 個展「安田侃の世界 天にむすび、地をつなぐ」開催（札幌市）
- H17 個展「人生を愛することは、平和を作ること」開催（アッシジ、イタリア）
- H18 イタリア連帯の星勲章「コッメンダトーレ章」（イタリア）
- H19 個展「時に触れる」開催（ローマ、イタリア、～H20）
- H22 北海道新聞文化賞
プッチーニ財団「ジャコモ・プッチーニ賞」（イタリア）
文化庁長官表彰
- H23 個展「安田侃野外彫刻展…街に触れる」開催（札幌市）

